

自己評価報告書(最終報告)

報告者

自然系コース(理科)
／小汐 千春

■平成23年度の目標に対する自己点検・評価

I. 学長の定める重点目標

I-1. 教育大学教員としての授業実践

本学の目的は、豊かな教養と教育実践力をもった教員を養成し、学校現場に送り出すことにある。このことを実現するには、教科専門・教科教育・教職専門等の各分野の授業が、学校現場の実践と関連性が保たれている必要がある。あなたは、教員養成大学の教員として、本年度はどのような授業計画を立て実現しようとするのか、これまでの取り組み状況を総括し、具体的に示して欲しい。

1. 目標・計画

脱ゆとり教育への転換がはかられているこの時代、教科内容をきちんと理解し教えることの出来る教師を育てる事が教員養成大学の急務である。従って、これまで以上に、教科内容の深い理解と科学的思考力を学生につけさせるべく、授業(講義および学生実験)を充実させていく。

2. 点検・評価

昨年度までの講義を一新し、脱ゆとり教育も考慮して生物学のより深い内容を理解させるように改善した。

II. 分野別

II-1. 教育・学生生活支援

1. 目標・計画

講義や学生実験、セミナー、卒業研究や修士の課題研究等を通じて、大学生や大学院生に自然科学の深い知識と科学的思考を身につけさせるようにする。

2. 点検・評価

講義については、I-1の通りである。セミナーについてもこれまでと内容や実施方法を変え、より卒業研究や修士の課題研究との関連性を高め、意欲的に研究に取り組ませるような方法に変更した。

II-2. 研究

1. 目標・計画

これまで通り、カミキリモドキ類・マダラガ類のフィールド調査や室内実験を行い、学会発表・論文作成につとめる。

2. 点検・評価

カミキリモドキ類およびマダラガ類のフィールド研究および室内実験を順調に行っている。また、カミキリモドキに関する学会発表を2件行い、マダラガについての論文1本についても2012年に入って出版された。更に、現在マダラガの論文を3本執筆中である。

II-3. 大学運営

1. 目標・計画

何らかの委員や入試関係の仕事がきたときには、責任持って遂行する。
また、外部への情報発信の場としての生物学教室のウェブサイトも随時更新し、充実をはかる。

2. 点検・評価

振興会幹事を担当し、会議にも出席した。入試関係の仕事についても責任を持って遂行した。
また、生物学教室のウェブサイトも常に更新し、最新の情報を発信した。

Ⅱ-4. 附属学校・社会との連携, 国際交流等

1. 目標・計画

専門分野におけるさまざまな問い合わせや講演依頼・査読依頼が来た場合は適切に対応する。
日本鱗翅学会の評議員として、また、日本動物行動学会の会計監査として学会運営に寄与する。

2. 点検・評価

7月に松茂町立図書館で大学連携講座として、一般(児童・生徒を含む)向けの講演を行った。また、日本鱗翅学会の評議員として、また、日本動物行動学会の会計監査として学会運営に携わった。

Ⅲ. 本学への総合的貢献(特記事項)